



原因不明の不調から 心も体も救う漢方の知恵

日本独自の進化を遂げた、
「和漢診療」を探る!



千葉中央メディカルセンター
和漢診療科部長
寺澤 捷年 医師

西洋医学と漢方の根本的な診方の違い

たとえば高齢の患者さんの中には、「検査をしても異常はないと言われた。でも、いつもちゃんと眠れた気がせず頭がぼーっとして、ちよつと動くと心臓がドキドキして流れるような汗が出る。腰から下は冷えて重たらく、膝も痛い」など、多岐にわたる不調を抱える方が実に多くいらっしゃいます。

心臓がドキドキするから循環器科に行き、足腰が痛いから整形外科に通い、幾つもの科を回り、大量の薬を飲み続けでも改善されず落ち込みがち…。そんな患者さんに漢方薬を処方し飲んでもらったら、悩んでいた不調が一挙に解決した、といったことが漢方の世界では珍しくありません。

西洋医学の場合、目は目、肺は肺、膝は膝、と体をパーツごとに分解して捉え、診断していきます。

病巣が見つかればそこに的をしばって直

接的な治療ができませんが、反面、病気と原因が見つかからない限り、いくら患者さんが不調を訴えても手の打ちようがないわけです。

一方、漢方の世界では、常に体全体を診ていく上、「心身一如」といって、心と体も分けては考えません。

人は歯が一本痛いだけで一日不機嫌になりますから、心と体は強く影響し合う不可分のものとして捉え、心身全体の調子を整えることで、患者さんの訴える様々な不具合を解消していきます。

漢方治療はオーダーメイド

西洋医学で使われる薬は、ある一つの病気の治療薬として人工的に化学合成された、単体成分からなるものがほとんどです。

それに対し、天然の生薬を混ぜ合わせてつくられた漢方薬は、多くの薬効成分を含む複合剤であるため、一つの漢方薬で様々な体の不具合に対処できるようになっています。

最も有名な漢方薬である葛根湯を例に挙げると、7種類の生薬が配合されていて、風邪のひき始めから、頭痛や肩こり、筋肉痛など、幅広い症状に効果を発揮します。

病気ではないけれど、体のあちこちに不具合を抱えて悩んでいる。

高齢者を中心にそういった訴えが増えている中、優れた治療効果を発揮し、今、世界的にも注目されているのが「和漢診療」です。

漢方を駆使して多くの患者を診ながら、和漢診療の指導と啓蒙に力を注いでいるこの分野の第一人者・千葉中央メディカルセンターの寺澤捷年医師にお話を伺いました。

とはいっても、幾つもの不調を一度に全部治したいと欲張ってはいけません。

治療には優先すべき順位があります。たとえば胃腸の調子が悪いと栄養がとれず、病氣と闘う力も出ないため、胃腸の調子を整える治療を優先します。

実際の診察では、患者さんの自覚症状を丁寧に聞くことから始まり、肌の色つやや歯ぐきや舌の状態、お腹のはり加減や痛み具合、脈の速さや強弱等々、全身の状態をくまなく診ていきます。

特に初診では20〜30分の時間をかけてじっくり診断し、患者さん一人ひとりに適したオーダーメイドの漢方治療を行います。

「未病」のうちに体質改善

漢方が向くのは高齢者だけではありません。最近の中高生の中には、すぐに風邪をひく子や、めまいを訴える子、体がだるくて勉強する気になれないといった子どもが増えています。

その多くは、いわば電池切れ状態になっています。

高齢者であれば無理もないのですが、まだ若いのに電池切れとなってしまうのは、年中冷たい飲み物やアイスを食べ、クーラーで体を冷やし、食生活が乱れている

ことが原因の一つと思われます。

このような子どもには、本来は高齢者によく使う八味地黄丸^{はちみじおうがん}を処方すると、てきめんに効くことが多々あります。

西洋医学では、健康か病気のどちらかに分類されますが、漢方の世界では病氣とは言えないものの体調が良くない状態「未病」というものがあります。

病氣の一手手前の「未病」の段階で体質を改善して体調を整え、病気を発症しない状態にもっていくことは、とても重要です。

風邪ばかりひいている患者さんがいるなら、そのたびに診察するだけでなく、漢方でその体質から治してあげるべきだと私は思います。

和漢診療科が世界からも注目される理由

千葉中央メディカルセンターの和漢診療科では、初診の際は必ず血液検査を行い、必要に応じてCT、MRIなどの検査も受けていただきながら、漢方薬を主軸とする治療を行っています。

さらに漢方治療だけでは不足があると判断した患者さんの場合は、各科の専門医師の提案を伺って、漢方薬と西洋薬の両方を処方することも少なくありません。実は、1種類の医師免許で漢方薬と西

洋薬の両方を処方することを許されているのは、世界で唯一、日本の医師だけです。そのため、西洋医学と漢方の知恵の良いと取りをしながら治療実績を上げている日本の医療は、今、世界からも注目を集めています。

西洋医学の知識と漢方の知恵を総動員することで患者さんにとって一番良い結果を引き出し、人を幸せにする医療。それが、理想の医療といえるのではないのでしょうか。

漢方薬についてのよくある誤解

誤	正
漢方薬は値段が高い	病院で行われる漢方治療には、健康保険が適用されます。日本では現在、147種類の漢方のエキス剤が保険適用となっているため、料金的にも心配はいりません。
漢方薬には副作用が無い	れっきとした薬である以上、副作用が出る可能性はゼロではありません。ただし、程度も軽く頻度も少ない場合がほとんどです。